

<本年度会長テーマ> 『みんなで創りみんなで味合うロータリーの愉悦（よろこび）』

例会日／毎週木曜日
会 長／青木 幹丸

例会場／リーガロイヤルホテル広島
幹 事／山口 洋充

Vol.589

2020年11月5日(木) 第982回例会
3階 「安芸の間」

会長時間



皆さんこんにちは。

11月に入り朝晩少し寒くなってきましたが、今日は小春日和で日中柔らかい日差しが注いでおります。2週間前の職場訪問、生憎雨の中、拙寺専教寺にお越し下さり有難うございました。ちょうど城北の生徒さんが定期テストの早帰りで駐車場一杯にバス待ちをしていたことなど、想定外のこともありましたが、まずは恙なく終了し家族一同安堵いたしました。まあこれに懲りずまたお出で下さい。少し顔が引きつりますが、いつでもウエルカムですよ。

11月はロータリー財団月間ということで、8月に地区補助金を使いミラリスピーカーや大型液晶テレビを寄贈した子ども療育施設「山彦園」の柳井真由美園長に、来週卓話をお願いしております。わがクラブで懸案のグローバル補助金には、現行の6重点事項（平和構築と紛争予防、疾病の治療と予防、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展）が広がり、2021年度からは環境の問題が加わるようです。このようなご時世ですが、何かヒントになることがございましたら、ご提案下されば幸いです。

今日の卓話者として、2年ちょっと前まで在籍された西丸洋平さんをお迎えしております。「あの人はいま・・・」。弁護士としてお忙しく活動しておられる日常からどのようなお話が聞けるのでしょうか、後ほど宜しく願いいたします。

いきなり今日は聖徳太子を出します。「和を以て貴しと為す」。十七条憲法に記された有名な言葉です。太子は574年に生まれ622年に歿して（薨去）おられますので、来年が1400回忌となります。それを見越して特集を組んだ雑誌も本屋さんで見かけるようになってきました。太子のお墓は磯長の御廟（しながのごびょう）叡福寺にあります。わがクラブゆかりの太子ロータリークラブのある大阪府南河内郡太子町がその場所です。

アメリカ大統領選挙の結果は確定しておりませんが、トランプ氏「分断と対立」、バイデン氏「協調と融和」というような二項対立の形で進められてきたような感じがします。冷戦という世の中の対立軸が崩壊してからこの方、欧州ではネオナチと呼ばれる極右イデオロギー（自民族優越主義とでもいうのでしょうか）が幅を利かすようになってきました。受け入れた移民によって職を失い社会の片隅に追いやられたもとの市民層の不満の捌け口が他民族排斥活動となっているということだと思います。

日本でもないわけではありません。人種差別は執拗なヘイトスピーチや陰湿なネットウヨなどといった形で顕在化しています。

なごみ、むつみ、やわらぐ。一切を仏教の精神で丸く収めることは出来ませんが、またそれだけで解決がつくとも考えておりませんが、身分の貴きものも庶民も、中国、朝鮮からの渡来人も含めない交ぜになって生きる飛鳥の地に、人心の荒廃を憂慮し、国家を統治する柱の一つとして和のこころを標榜された聖徳太子のお言葉に、連綿と続く和の国日本の精神風土の美德を懐かしく慕わしく感じるのです。



「コロナ禍での事柄」
 勁草法律事務所 代表
 西丸 洋平 様（元会員）



2年前に突然退会させていただき、本日こうした機会を頂きありがとうございます。さて、本日話をさせていただき内容については悩みましたが、在籍時にあまりきちんと自己紹介もできていないことから、その話と退会してからコロナ禍と呼ばれる現在までの話、一応専門家の端くれなので、法律問題でコロナ禍で見かけるものの一部の話させていただきます。なお、最後の点は守秘義務の問題もありますので、一般論的な話を個人的な感想を含め話をさせていただきます。

○事業所名の由来

自己紹介といっても以前在籍させていただいたこともあり、あまりすることもないように思いますので、事務所名の由来だけ話をさせていただきます。よく人の名前に間違えられますが、中国の故事成語の「疾風知勁草」という言葉から取っています。この言葉自体は、現存のものは中国の南北朝時代に作成された後漢書という歴史書の王覇伝にある逸話が出典となっています。後漢書自体は漢王朝（一度滅亡し再興したほう）の歴史を書いたもので、日本で有名な三国志はこの後漢の終わりのころからの話となっています。

王覇伝というのは、後漢の王朝を始めた光武帝：劉秀という方の部下であった方でいわゆる功績者の一人という方ようです。光武帝自体は日本では福岡県の志賀島で発見された「漢の委奴国王印」という金印で有名な方で、いろいろと逸話がありますね。有名なところでは、「疾風知勁草」以外でも「赤心を推して人の腹中に置く」「志あるものは事竟になる」等の話があります。あまり長くなってもいけないので、「疾風知勁草」の意味は疾風つまりつよい風が吹いて、つよい草かどうか分かる、言い換えると強い風が吹いても倒れずに残る草はそれ相応の強さがあるものということで、困難にあつてその人の真価が分かる・困難時に真価を発揮するという意味で使われているようです。実際には歴史書やこの言葉とセットになっている言葉はバリエーションがあるようですが、こうした意味が一般的と考えられているようです。

エピソードとしては、光武帝が統一事業を進める際の困難な時に最初から付き従っている方がほとんどいなくなっていったという中で、この王覇という方がずっと付き従っていたということから、その功績をたたえたもののようです。

この言葉のような仕事をしていきたいということで、事業所名に拝借しています。

○退会してからコロナ禍まで

退会をさせていただいたのは正直人員不足の仕事ですので、時間面のところがかなりありました。その後人員が増えたかなと思っていましたところ、新型コロナウイルスというものが流行し、学校の休校などが広島市でもあったところに人が減るということがありました。

結局のところ、人員不足は今に至るまでそこまで変わってはいませんが、変わりなく過ごしている次第です。見知った皆様方もご壮健そうな様子でしたので何よりではないかと存じます。

さて、コロナ禍によって裁判所の業務が広島では4月中旬から5月下旬ころまで止まっており、仕事内容や生活リズムに影響を受けましたが、仕事自体は変わらず存在しておりました。行う中身は変わり生活面での影響はあったように思いますが、コロナ禍だからという話はありませんでした。ただし、広島市内等近場の話はともかく、遠方での仕事その他については今年ブームになっているように思います。zoom等の活用など一部変化もあるように思われます。デジタル化の話もありますが、現在法務省にて裁判のIT化ということで一部の場合に限られる可能性もありますが、ウェブ会議の導入などの議論もされていることがあり、日常業務なども変わっていくのではないかと思います。

○最近の法律問題について

詳細な話は諸般制約がありますので、個人的にこうした問題が出ているのかなというものを触れさせていただきます。最近大きく問題になっているのは労務管家のトラブルではないかと思われます。いわゆる倒産の関係は裁判所の業務が一時滞っていた（緊急事態宣言の関係等）もあり、実際には件数は多くはない印象です。労務関係も厚生労働省がQ&Aを出す・文献も出されるなど問題になることも多く、給与関係や退職関係で経営面その他の理由からの問題が出ているのかもしれない。いずれにしても、一方の方からのご依頼を受けて動く・そういう意味では公平かと言われればそうではない仕事柄ではありますが、仕事の進め方やそれに伴う管家業面の変化が進んでいくのではないかと思います。

最後に退会したにも拘わらず、話の機会を頂きありがとうございました。



11月5日(木) 第 982 回

本日のプログラム
「コロナ禍での事柄」
勁草法律事務所 代表
西丸 洋平 様 (元会員)

幹事報告

1. BOX配布物

- ・ガバナー月信とロータリーの友を配布しております。
 - ・10月分の個人別出席一覧を配布しております。ご確認ください。
 - ・年次総会のご案内を配布しております。
- と き : 2020年12月10日(木)

ニコニコ箱

¥38,000 累計¥309,000

会員記念日 (11月)

☆誕生日おめでとうございます

- ・奥芝 隆会員 (S22. 11. 04)
昨日にて、73才になりました。がんばらねばと思っております。

☆結婚記念日おめでとうございます

- ・岡本 忠文会員 (S58. 11. 03)
感謝、永遠に愛を!!

☆入会月おめでとうございます

- ・黒田 七郎会員 (2019. 11. 14)

☆西丸 洋平様 (大枚です)

☆青木 幹丸会員

先々週の職場訪問例会、滞りなく終了しホッとしております。皆さん、御苦労様でした。西丸さん、お久しぶりです。ようこそお越し下さいました。お話楽しみにしております。

☆谷 勝美会員

青木会長、先日 (10月22日) の職場訪問例会時には大変お世話になりました。専教寺さんの歴史の古さ等を聞かせていただき、認識を新たにしました。又、当日は奥様、娘さん夫婦、お孫さんの19代20代に至る皆様に我々会員を温かく迎えていただき恐縮の極みです。有難うございました。

☆奥芝 隆会員

先週の職場例会、青木会長ありがとうございました。久しぶりに、厳かな気持ちに立ち返ることとなりました。南無阿弥陀仏。



～2019-20年度表彰～

- ・ロータリー財団年次基金人頭額賞1位
- ・Every rotarian, Every Year
- ・100%ロータリー財団寄付クラブ
- ・End Polio Now :



出席報告 第980回 10月15日

会員数 21名 出席率 80.00%

出席	15名	ご来賓	1名
欠席	6名	ご来客	0名
メーキャップ	1名	ゲスト	0名

和を以って貴しと為す



2020年11月12日(木) 第983回例会
3階 「安芸の間」

会長時間



皆さんこんにちは。今日も日中穏やかなお日和になりました。

今日の卓話ゲストは、広島市子ども療育センター山彦園から柳井真由美園長先生をお迎えしております。いつもですとゲストスピーカーさまには、私たちと一緒に昼食を摂っていただくのですが、このご時世で乳幼児を対象とする園長というお立場上、どうしても外部との接触を控えなければならないという要請から、今回お食事は済ませてお出で下さいます。後ほど「広島県・広島市における難聴乳幼児の療育について」と題してお話をいただきます。

アメリカ大統領選挙の結果が一週間たってもはっきりしませんが、おそらく民主党のバイデン候補が大統領に就任されるのでしょうか。分断されたアメリカ社会が少しでも協調に向けて歩み始めることを望みますし、世界に対しても超大国アメリカが範を示してくれることを期待しております。

しかし、バイデンさんが優勢と伝えられた途端に、「自分はジョー・バイデンだ」と名乗りを挙げられた熊本県山都町の梅田穰町長さんや、副大統領候補のカマラ女史と同じ地名が、沖縄県沖縄市に「嘉間良」と存在しているとかいった記事が配信されているところを見ると、日本でも新大統領が好意的に迎えられているのを感じます。さてさてこれからの外交はどうなりますことやら。

今日の言葉はいままでの文脈には関係ありませんが、「知之者不如好之者 好之者不如樂之者」。之を知る者は之を好む者に如かず 之を好む者は之を楽しむ者に如かずと読みます。

この論語の言葉がかつてよくガバナーさんたちが引用されました。ロータリーのしきたりや情報を学んで吸収することは大切だけれども、それはロータリーが大好きだという人には及ばないし、ロータリーが好きだという人も、芯からロータリーを楽しんでいる人には敵いません、だから、どうせやるなら例会も奉仕の実践も楽しんでやりたいものですねという論旨で語られるわけです。いささか牽強付会にも感じますが、自分にとって例会は月にほぼ三度のハレの機会ですから、食欲に楽しみたいですね。

今日も宜しくお願いします。

「広島県及び広島市における 難聴乳幼児への支援」 広島市こども療育センター山彦園 園長 柳井真由美



この度、安佐ロータリークラブ様から、ご寄付をいただきました「広島市こども療育センター山彦園」です。「山彦園」は、0歳から小学校入学までの難聴の子どもとその保護者が通う施設です。

近年、生後数日で行われる「新生児聴覚スクリーニング検査」の普及により、難聴児の多くは生後3か月までに発見され支援が開始されるようになりました。「山彦園」では、子どもの聞こえにくさに合わせて補聴器や人工内耳（耳を手術して機器を埋め込み聞こえの神経を刺激する器械）を調整し、子どもの聞く力を伸ばしていきます。そして、日々の親子のコミュニケーションの中で、難聴児がことばを獲得できるように、家庭での過ごし方やコミュニケーションの取り方を保護者に伝えています。

保育園や幼稚園に通いながら、山彦園にも通っている子ども達もたくさんいます。聞こえる子ども達との生活の中で、聞こえにくさに配慮された生活を送ることができるように、幼稚園や保育園とも連携しています。

この度、安佐ロータリークラブ様から「難聴の方用に開発されたスピーカーとマイク」「大型テレビ」の2点をご寄付いただきました。よりよく聞くためのスピーカーと、目で見て分かる情報を得るためのテレビは毎日の指導の中で大活躍です。感謝申し上げます。



先生の話スピーカーを通して聞く



大型テレビを使って、経験したことを振りかえる



パイナップルがどのようなものか実物を見せて、匂いなどを教えている様子



人工内耳



11月12日(木) 第 983 回

本日のプログラム
「広島県及び広島市における
難聴乳幼児への支援」
広島市こども療育センター 山彦園
園長 柳井 真由美様

幹事報告

1. BOX配布物

- ・ 11月定例理事役員会議事録
- ・ 休会のご案内(12月31日)
- ・ クリスマス夜間例会のご案内
12月17日(木) 18:30~20:30
(風車アクアセンター街店)
- ・ 崇徳高校IACマナー講習夜間例会のご案内
2021年1月21日(木) 17:30~19:45
(リーガロイヤルホテル広島)

2. 休会

- ・ 11月24日(火) 広島RC
- ・ 11月26日(木) 広島北RC

ニコニコ箱

¥1,000 累計¥331,340

☆青木 幹丸会員

山彦園 園長柳井様、本日は対外的な折衝に制約がある中、ようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにしております。

出席報告 第981回 10月22日

会員数 21名 出席率 85.00%

出席	17名	ご来賓	0名
欠席	4名	ご来客	0名
メーキャップ	0名	ゲスト	0名

知之者不如好之者

好之者不如樂之者

2020年11月19日(木) 第984回例会
3階 「安芸の間」

会長時間



皆さんこんにちは。長く続いた晴天も昨日まで、今日は曇っていますが気温は依然として高く、えびす講とはいえ季節感があまりない印象です。

今日は卓話ゲストとして保田隆さまをお迎えしました。保田さまにはかつて2005年3月10日の例会に一度お出でいただいております。当時は、奥芝会員が会長、清家会員が副会長でいらっしゃ

いました。かくて時は流れ、いま、この度は事務局の三戸さんの義兄に当たられるというご縁と、中村会員の強いお薦めによってお招きすることが出来ました。後ほど宜しくお願いいたします。

今夕、今年度最初(で最後)の14ロータリークラブ正副会長幹事会がグランヴィアであります。ホストクラブである北ロータリーの久保会長、下前幹事さまも、昨今の新型コロナウイルス感染者拡大の情勢に細心の注意を払われながらようやく開催に漕ぎつけられたご様子です。特に第7グループの四役さまとは初めてお目にかかる機会ですので、状況が許す限り懇親を深めたいと考えております。

今日はこんな言葉を書いてきました。「みんな違ってみんないい」。よくご存じの金子みすずの言葉です。ここから、誰しにも優しい温かい眼差しが注がれる社会、みんなを平らかに受け容れてくれる社会、誰一人として排除されることのない社会を理想として思い描くのです。それは、社会が自ずからそうある、というのではなく、社会を構成するメンバーが少しでもその理想に近づいていくように不断の努力を惜しんではなりません。現実には未達成、不十分などところだらけなのですから、少しでもその部分が埋まるように対症療法を施すのです。

保田さまが携わっておられる分野も、本当にご苦労が多いこととお察しします。「一日1ミリ」と仰いますが、周囲の辛抱強い地道なサポートと当事者の方の固い決意と血の滲むような努力によって初めて事態の打開が図られるわけでしょう。少しずつの最小単位としての1ミリではありますが、その背後には想像もつかないような大きなおおきなエネルギーが注ぎ込まれていることを思わずにはおれません。

「心の共育～一日1ミリ～」

保田学園共育
学園長 保田 隆



11月19日（木）例会を開催いたしました。

本日の卓話ゲストは、教師でありシンガーソングライターでもある保田 隆（やすだたかし）様にお越しいただきました。

最初に、保田 隆さんのプロフィールを簡単にご紹介します。保田さんは、保田学園共育学園長、保田学園共育高等学院（神村学園高等部広島学習センター）校長、保田学園共育プロログ校長、保田学園共育リスタート校長、保田学園ハートランド代表理事を行いながら、RCCラジオ「保田隆のハートビートラジオ」（毎週月曜日20：30～）、広島FM放送「保田隆のリンクウィズU」（毎週金曜日21:00～）のパーソナリティ、さらには、シンガーソングライターとしてもご活躍されています。

保田さんの紹介者は私なのですが、実はお会いするのは今回が初めてです。と言うのも、私のオフィスは常にラジオがかかっている、毎週金曜日の「リンクウィズU」を聞いて、いつも保田さんのお話に感心していたのです。すると、保田さんは広島安佐RC事務局の三戸さんの義理のお兄様ということが分かり、以来、卓話に来ていただきたいと熱望していたところ、今回晴れて実現したというわけです。なので、私も個人的にとっても楽しみにしておりました。

本日の卓話のテーマは「心の共育。一日1ミリ」。

保田さんが主催される保田学園は、「この世から不登校児童・生徒をゼロにすること。そしてひきこもり状態・ニートのおとなをなくすること。そのためには昔ながらのコミュニティの再生＝0歳から100歳までの心の居場所づくりを実現すること。」を掲げ、完全不登校に特化した広島では珍しい学校です。現在、小さな子どもからおとなまで130人の生徒が在籍していますが、保田さんが今に至るまでには様々な物語があったそうです。ご自身も社会人になって間もなく約3年間ひきこもり・鬱になった経験があり、そんな中、一人の女子校高校生との出会いが現在の仕事に就くきっかけになったそうです。その話は長くなるのでここでは触れません。ご興味のある方は保田さんを追跡してみてください。

保田学園が掲げる「共育」とは、「共に悩み、考え、語り合い、そして共に泣き、笑える、心の居場所をつくる」というものです。他人に無関心な人が多い現代にあって、その人のことを「わかってあげる、わかってあげようとする」ことは、真の教育（共育）であり、思いやりが詰まった素晴らしい教育（共育）だと思います。

保田さんはまた、「かっこ悪い、弱いおとな」をさらけ出すことも大切だと言われていました。こちらが素にならないと心を開いてもらうことはできないということです。保田さんがこの道に進むきっかけとなった女子高校生は、その後、美容専門学校へ行き美容師になり、今では立派な母親になられたているそうです。そして、その女性に「最初はうっとおしかった。でも時が経つにつれ、世の中にこんなにかっこ悪いおとながいるんだと思った」と言われたそうです。保田さんはその女性のために半年間毎日、自宅に通い続けそこから一歩ずつ心のケアをしていられました。女性の言葉は最高の褒め言葉だと保田さんは言われました。

保田学園には、ホームスクールという授業があります。不登校を改善するには、まず家庭をかっていく必要があると保田さん。ホームスクールは家庭訪問ではありません。家庭を変えるために家族にも共に学んでもらう必要がある。だから、保田学園は父母にも入学願書を出していただくそうです。入学式に本人は出席しませんが（なぜなら不登校だから…）父母は出席します。父母も入学して共に変わっていくのです。ホームスクールの最大の目的は「お母さんを笑顔にする」こと。お母さんは家にいて不登校のこどもと一日中同じ屋根の下にいる。だから、お母さんが笑顔になれば、こどもにもいい影響を与えることは間違いないのです。そして、保田学園の誇るべきところがもう一つ。それは「だれも辞めない」ことだそうです。昨年度も退学者は0（ゼロ）！素晴らしいです。

現在、日本国内で、1年間に30日以上欠席する不登校のこどもは約18万人。そして、18歳～34歳のひきこもり・ニートは約60万人いるそうです。「これは国難です」と保田さんは言われます。おとながひきこもって働かないということは税金を収めないことになるから…。

さて、どうしますか？ 私たちも保田さんのようにはできないまでも、かっこ悪いおとなになって何とかしなくては…。コロナ禍でひきこもり・鬱になる人の数が増えています。そんな人が身近にいたら、あきらめないで「わかってあげる、わかってあげようとする」ことが大切だと学びました。ひとりひとりが少しずつそういった意識をしていくと、世の中は悪くない方向に進んで行くと思います。

保田さん、本日はいいお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。また、ラジオでお耳にかかれることを楽しみにしています。

（広報・会報委員）



11月19日(木) 第 984 回

本日のプログラム
「心の共育～一日1ミリ」
保田学園 共育
学園長 保田 隆様

幹事報告

1. お知らせ

- ・次週(11月29日(木))は休会です。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

ニコニコ箱

¥2,000 累計¥333,340

☆青木 幹丸会員

保田様、本日はようこそお越し下さいました。15年ぶりのお話を楽しみにしております。

☆八條 範彦会員

保田さん、卓話を楽しみにしております。奥さんには、お世話になっております。

出席報告 第982回 11月5日

会員数 21名 出席率 85.00%

出席	16名	ご来賓	1名
欠席	5名	ご来客	0名
メーキャップ	1名	ゲスト	0名

みんな違ってみんないい

～金子みすゞ～

崇徳学園 I AC募金

11月分

松岡 與吉・奥芝 隆・岡本 忠文・谷 勝美

合計 4,000円

総合計 33,000円

